

「感じ」「動き」「かわる」…子どもも学校も、さらに一步前へ！



# さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和8年6月29日 文責：校長 森川 稔

## ご来校ありがとうございました

先週の「東っ子の心を見つめる教育週間」期間中には、ご多用な中、多くの保護者・地域のみなさまにご来校いただきありがとうございました。月曜日の授業参観では、全学級道徳の授業を行いました。命の尊さや自然愛護について自分たちの考えを出し合い、学びを深めていきました。ふだんの生活の中でできること、たとえば「仲良くする」「“ありがとう”と“ごめんなさい”を大切にする」「相手の気持ちを考える」当たり前のことのようにですが、これらの気持ちを大切に72名の東っ子が楽しく学校生活を送ってほしいと願っています。

参観後は、体育館で消防署の方にご指導いただきながらAED講習会を行いました。児童(5,6年生)、保護者、教職員と3つのグループに分かれ、心臓マッサージやAED使用について実際に体験しました。実際に行うことがないのが一番いいのですが、万一その場面に自分がいた場合、冷静に落ち着いて対応できるかが大切であり、そのために日頃から体験しておくことが大切だと思いました。道徳の授業、AED講習、どれも「命」に関わる大切なものだったと思います。



授業参観の前には、1年生は親子給食や体育館でレクリエーションを行いました。自分たちで準備する様子を見てもらい、お父さんお母さんと一緒に食べる給食はいつもに増しておいしかったようです。

## 少年の主張大会

令和8年度第21回平戸市「少年の主張」大会が開催され、市内の小学生13名、中学生8名、計21名の代表者が参加しました。

本校からは6年生のT.Iさんが出場し、「友達との関係」という題で堂々と発表を行いました。この日のために、放課後や家庭で何度も練習



を重ねてきた T.I さん。本番では、その努力の成果が十分に発揮され、落ち着いた態度で自分の考えを伝えることができました。

発表の最後には、「デジタルな時代だからこそ、人と人とのつながりを大切にしたい。僕はこの経験を胸に、これからも周りの友達一人ひとりとの絆を、ていねいに育てていきたいと思います。」と力強く締めくくりました。

大きな舞台で多くの人の前に立ち、自分の考えを発表した経験は、T.I さんにとって大きな財産になったことと思います。今回の学びや経験を、これからの学校生活や友達との関わりの中で生かしてくれることを期待しています。



## さくらの学校

教育週間の最終日は、「さくらの学校」を実施しました。地域の方を講師にお招きし、いろいろな文化や技術、地域歴史などを学ぶことを目的としています。全体会で講師の先生方を紹介したあと、さっそく講座に分かれて学習します。今年度は「焼き物」「日本舞踊」「竹細工」「生け花」「押し寿司」「平戸の歴史」「古代工作」の7つの講座があり、各講座とも1年生から6年生まで一緒になって教えていただきました。

教科書を使った学習と違って、講師の先生方に教えていただきながら、「本物に触れる」活動は、より地域を知り、より心を豊かにする事に結びつきます。一見すると、単発のイベント的な取組のように思われるかもしれませんが、これらの学びは、社会科、総合的な学習、音楽科、図工科、家庭科、体育科など様々な教科とも関わる貴重な学びでもあります。

限られた時間の中で、楽しく真剣に取り組む子どもたちの姿にあらたな心が見えました。ご多用な中、ご指導いただいた講師の先生方に感謝いたします。



田平東小HPはこちらから→

